



参 議院議員通常選挙（7月4日公示）が7月21日に行われ、即日開票されました。町内の投票率は55.70%（選挙区）で、平成28年7月に行われた前回の参議院議員通常選挙の63.28%から7.58ポイント下がりました。

選挙区選出議員選挙では吉川ゆうみ氏が当選しました。

選挙へ行こう



▶投票所別投票率（菰野町、選挙区）

投票所	男	女	計
第1投票所 (B&G 海洋センター)	44.02%	38.88%	41.34%
第2投票所 (菰野地区コミュニティセンター)	35.80%	34.62%	35.19%
第3投票所 (鶴川原地区コミュニティセンター)	45.81%	41.64%	43.65%
第4投票所 (竹永地区コミュニティセンター)	37.55%	37.09%	37.32%
第5投票所 (朝上地区コミュニティセンター)	36.23%	33.92%	35.07%
第6投票所 (小島集落センター)	43.04%	38.88%	40.94%
第7投票所 (千種地区コミュニティセンター)	38.39%	35.71%	37.00%
第8投票所 (菰野保育園)	32.80%	31.12%	31.95%
期日前投票	17.60%	19.32%	18.48%
合計	56.06%	55.36%	55.70%

▶参議院選挙区選出議員選挙開票結果(敬称略)

候補者氏名	届出政党名	菰野町	選挙区
当 吉川ゆうみ	自由民主党	8,714	379,339
門田節代	NHKから国民を守る党	1,032	40,906
よしの正英	無所属	8,642	334,353

▶参議院比例代表選出議員選挙名簿届出政党等の得票数

政党等名称	菰野町	三重県合計
日本共産党	1,147	45,660
自由民主党	5,927	259,391
オリーブの木	90	2,887
社会民主党	402	16,403
公明党	2,408	101,481
国民民主党	2,697	89,003
日本維新の会	1,138	55,436
幸福実現党	97	3,419
立憲民主党	2,987	126,892
労働の解放をめざす労働者党	34	1,249
NHKから国民を守る党	358	14,421
安楽死制度を考える会	116	3,931
れいわ新選組	790	28,990

※小数点未満切捨

Net119

緊急通報システム 10月1日運用開始

What's Net119?

声での会話が困難な方や聴く事や話す事に不安がある方がスマートフォン等で119番通報ができるサービスです。いつでもどこからでも管轄する消防本部へ、音声に頼らずに通報できます。

Eメール119からNet119へ

これまで音声を用いない119通報システムとしてEメール119がありましたが、Net119緊急通報システムでは位置情報(GPS)が通報され、チャット形式で通報ができます。

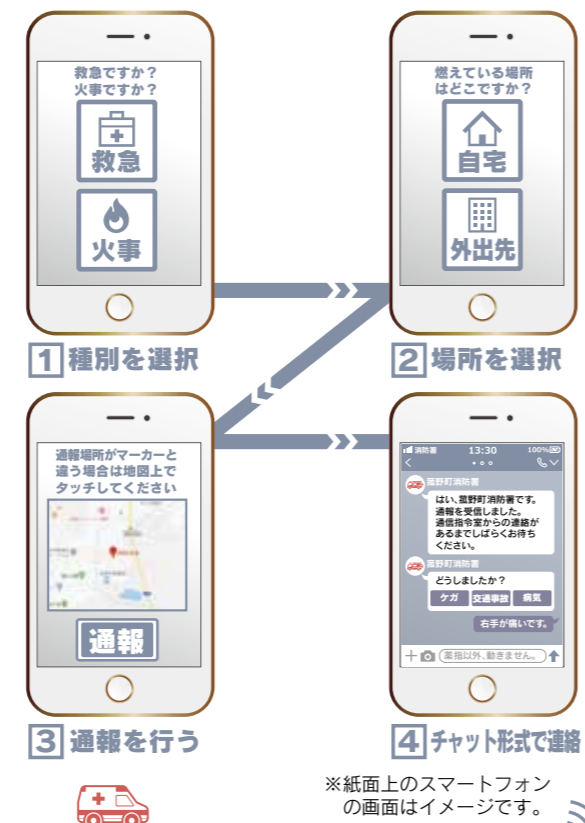
※Net119緊急通報システムの利用には登録が必要です。説明登録会を開催しますので詳しくは、おしらせ版9月前半号をご確認いただくか、下記までお問い合わせください。

※Eメール119は、令和2年1月14日をもって運用停止となります。

GPS通報

チャット形式

Net119緊急通報システムの手順



※紙面上のスマートフォンの画面はイメージです。

【問い合わせ】菰野町消防署

TEL 394-3239 FAX 394-5766
MAIL komonofd119@m3.cty-net.ne.jp



陶祖誕 300周年を迎え
さらにその先へ
新たに生まれる「菰野ばんこ」の価値

絵付け
柄や模様を付けます。そのほとんどが職人の手書き作業。

菰野ばんこができるまで 工程を紹介

素焼きの準備

製品を並べ700～800度の温度で焼き上げ、絵付けや施釉の工程をしやすくします。



仕上げ

取っ手やつまみなどの細かいパーツを接合させます。

鑄込み

型である石膏に液体状にした土を流し込んで成形します。



練り土の切り分け

練って空気を抜いた陶土を必要な量に応じて切り分けます。



焼成

1100～1250度の温度で長時間、焼き上げて完成となります。



施釉

専用のはさみで浸すなどして釉薬をかけ、色をつけます。



「窯出市」

2019年11月2・3日
9:00～16:00
役場庁舎南側 河川敷

今年は、ろくろや絵付けができる体験コーナーやライブキッチンなども予定されています。買わずに見ただけでも大歓迎!



7人の窯元が作り上げる
菰野ばんこを生産する7人の窯元は「菰野ばんこ会」を結成し、菰野ばんこの普及を図っています。その活動のひとつとして菰野ばんこ焼「窯出市」があります。窯出市は、2019年で14回目の開催を迎え、7つの窯元が1年間の集大成として作品を持ち寄り、販売します。例年、県外からの来場者も多く、目当ての窯元の作品を購入しようと多くの方で賑わっています。

わいいます。
今の日本のライフスタイルに合った萬古焼をどのように提案して生産するか。現在の萬古焼は、大衆向けの大量生産だけが求められるものではなくなっています。そんな状況の中で7人の窯元は時には技術を教え合いながら新たな菰野ばんこのかたちを生み出し続けています。菰野町の歴史ある地場産品として300年の伝統を絶やさないよう窯のように熱い思いで今日も菰野ばんこを作り続けています。